

2023年度

日本パグウォッシュ会議公開講座

核時代における非戦

第2回

朝鮮半島の核危機をとらえな
おす：日本の担うべき役割は
何か



日本パグウォッシュ会議、世界宗教者平和会議（WCRP）日本委員会およびPRIME（明治学院大学国際平和研究所）の三者は、2018年以来、市民に開かれたシンポジウムを共催してきました。

包括的テーマは、当初の「核の脅威削減に向けて」から「パグウォッシュ会議と『非戦』の思想」、そして現在の「核時代における非戦」に変わりましたが、貫くものは、人類共滅を防ぐための、核廃絶と戦争放棄という、ラッセル＝アインシュタイン宣言に示された理念です。

特に今年度は、昨年来のウクライナでの戦争が収まらぬなか、核大国による国際法無視の武力行使という、私たちの理念に真っ向から挑戦するような現実が、目の前で展開しています。終末時計が、核時代が始まって以来、もっとも真夜中に近づいているのです。

奈落の淵から引き返すため、私たちは、科学的知見に基づいて、新たな展望を社会に提供することをめざします。市民と科学者、宗教者が理性的に対話する場をひろげて、核兵器廃絶と非戦の道を歩む思想と運動を、一層豊かなものにしていきたいと願っています。

スピーカー：



講師
梅林宏道さん
ピースデポ特別顧問



司会
栗田禎子さん
千葉大学文学部教授



ZOOMウェビナー開催

要申込・参加費無料



2023年10月14日（土）

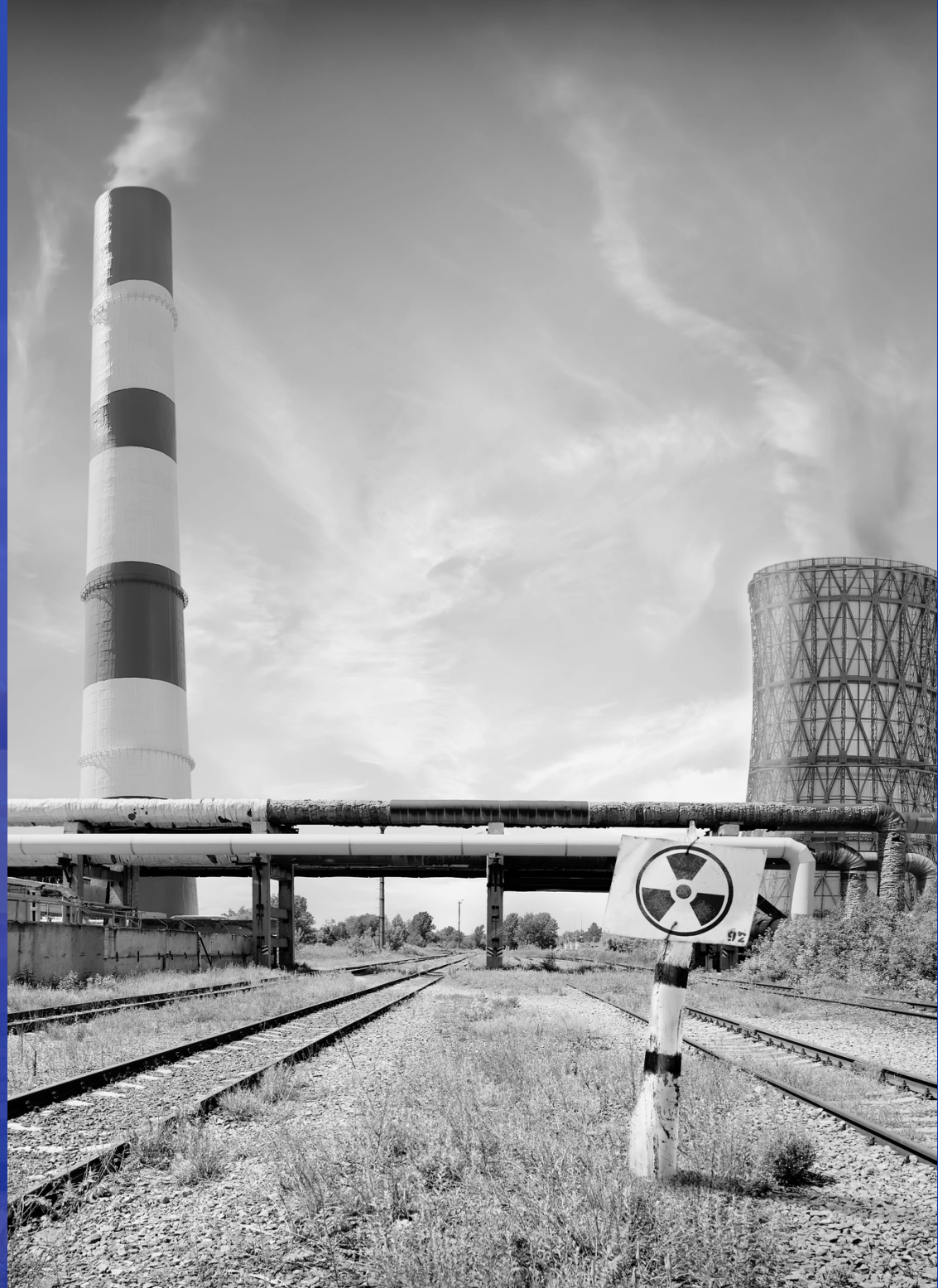
15:00 - 17:00

申込方法

以下のURLより参加申込をお願いします。
<https://us02web.zoom.us/join/register/tZUuce-ugDkrGty7NM2NJDOhxyRGrbOf1gC2#/registration>



*上記QRコードからも読み込めます。



PURPOSE AND POINT



目的

本講座は、自然科学・人文社会科学の垣根を超え、多様な分野の科学者が語るとともに、市民と科学者、宗教者が活発に意見交換・交流することによって、日本社会における「平和」や「非戦」をめぐる議論と運動を豊かなものにしていくことをめざします。



第2回講座の趣旨

ロシアのウクライナ侵攻と、韓国の保守政権誕生以来、朝鮮半島の緊張は高まるばかりで、核兵器使用の敷居も下がっているようにみえます。「北朝鮮の核問題」とばかり報じられる朝鮮半島の現状を、隣国日本の市民はどうとらえ直すべきなのか。軍事が突出した日米韓「三国同盟」とは異なる道を展望する機会としたいと思います。

共催（問い合わせ）



日本パグウォッシュ会議（pugwash-japan-office@googlegroups.com）
世界宗教者平和会議日本委員会（<https://www.wcrp.or.jp/rfpj-info@wcrp.or.jp>）
明治学院大学国際平和研究所（03-5421-5652 / prime@prime.meijigakuin.ac.jp）